

令和7年度

管路更新(耐震化)事業

黒瀬(南方)地区水管橋塗装塗替工事

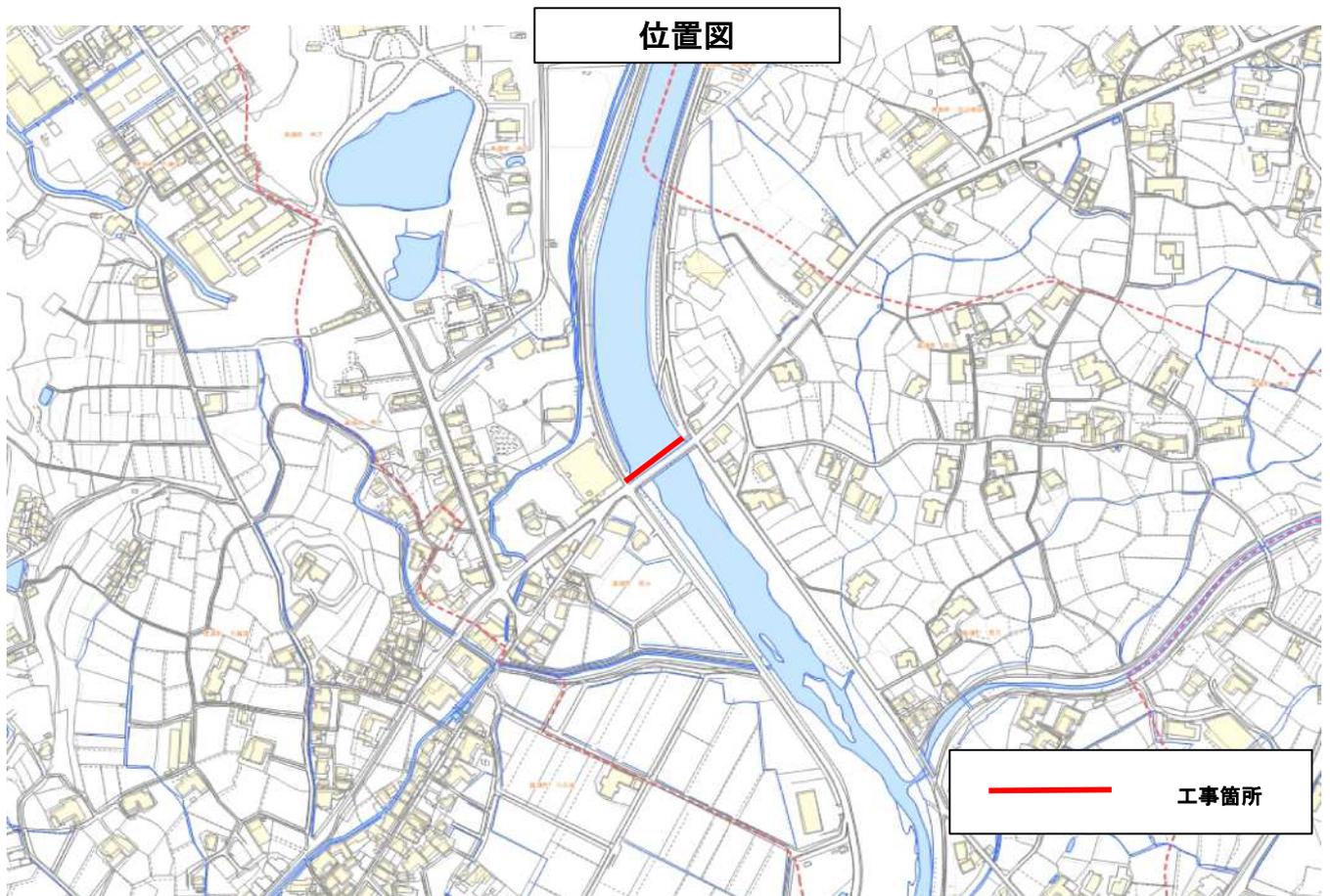
仕様書

施 工 場 所 東広島市黒瀬町南方

位置図



位置図



# 特記仕様書

(黒瀬(南方)地区水管橋塗装塗替工事)

## 第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 債務負担
4. 現場代理人の兼務
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて

## 第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 使用材料

## 第3章 施工条件

1. 工程
  - (1) 関係機関との協議
2. 安全対策
  - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 盛土・埋戻土
  - (1) 購入土(搬入)(新材料)
4. 建設副産物
  - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)
5. その他
  - (1) 施工時期及び施工時間の変更

## 第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 提出書類

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島及び「広島県）」）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。
- (2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (14) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。

3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。
---	---	---	---	------	---	--------

## 2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって部分払いは認めていないが、中間前払金にあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

## 3. 債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

- 令和7年度 請負代金額の60%  
令和8年度 残額

出来高予定額

- 令和7年度 請負代金額の60%  
令和8年度 残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い 請求可

契約年度において請負契約金額の40%を請求できるものとする。なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし本工事は、契約年度においての部分払いはできない。

## 4. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
  - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
  - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
  - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
  - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
  - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

## 5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

## 6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

## 7. 工事中情報共有システム

- (1) 工事中情報共有システムの利用は受注者の任意である。
- (2) 受注者が工事中情報共有システムの利用を希望する場合、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。  
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）  
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。  
この場合においては、次のとおりとする。
  - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
  - 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
  - 3) 「4.検査」は適用しない。
  - 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
  - 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

## 8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。  
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
  - 1) 補正方法
    - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。  
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
    - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正值 (%) = 真夏日率 × 1.2

2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

#### 9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

#### 10. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

#### 11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

#### 12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

##### 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画(5の確認結果票を含む)を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

##### 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

##### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

##### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

##### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、

あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m<sup>3</sup>以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

#### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

#### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

#### 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

#### 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

#### 11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

#### 12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード

(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

## 第2章 工事材料

### 1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
塗料	塗料一般	

### 2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

### 3. 使用材料

- (1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	プレキャスト製品	製造1年未満	
	塗料その他	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難しい場合に、（公社）日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

## 第3章 施工条件

### 1. 工程

#### (1) 関係機関との協議

協議内容 河川管理者と協議中であり令和7年8月協議終了予定  
範囲 仮設工

### 2. 安全対策

#### (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

### 3. 盛土・埋戻土

#### (1) 購入土(搬入)(新材料)

本工事では、1,521m<sup>3</sup>(ほぐし)の土砂購入を見込んでいる。

なお、新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。

ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

### 4. 建設副産物

#### (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称) 黒瀬資源再利用センター株式会社  
(所在地) 東広島市黒瀬町大多田字大十田302-52  
(運搬距離) 5.6km

## 5. その他

### (1) 施工時期及び施工時間の変更

休日・夜間作業届については、FAX・メール・工程会議等で、監督職員・請負者双方が、「作業日及び作業時間」「作業場所」「作業理由」「作業内容」について把握していれば、改めて提出しなくてよいものとする。

## 第4章 その他

### 1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

### 2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳を1部提出する。

### 3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

### 4. 提出書類

- (1) 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。
- (2) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし、週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。
- (3) 納品書(写し)又は出荷証明書(原本)は集計表を添付して提出すること。
- (4) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。

令和7年度 管路更新（耐震化）事業  
黒瀬（南方）地区水管橋塗装塗替工事  
特記仕様書

広島県水道広域連合企業団 東広島事務所

## 1 工事概要

本工事は、東広島市黒瀬町南方地区に設置されている水管橋について、水管橋外面の塗装塗替工事を下記概要のとおり請負にて実施するものである。

- (1) 水管橋塗装塗替工 1式
- (2) 仮設工 1式

## 2 水管橋型式

水管橋の形式は以下のとおりである。

- (1) 水管橋長 80.0m
- (2) 形 状 フランジ補剛式 水管橋  $\phi 450$  mm、伸縮管  $\phi 450 \times 800$   
リングサポート  $\phi 450$ 、進入防止柵（2ヶ所）
- (3) 材 質 鋼管
- (4) 設置年度 昭和56年度
- (5) 塗装経歴 昭和56年度（当該水管橋竣工時）
- (6) 塗 装 色 原則として現状同系色とするが、マンセル番号色見本等により、監督職員が別途指示する。

## 3 水管橋塗替塗装範囲

塗装範囲

- (1) 補剛材・鋼板沓・リングサポートの既設フッ素系樹脂塗装部分を塗装すること。
- (2) 塗装延長 80.0m

## 4 塗装面積及び仕様

- (1) フランジ補剛塗装面積 285.1m<sup>2</sup>

ア 素地調整：1種ケレンとし、十分な下地処理を行うこと。

イ 下塗り：1回目はけ塗り、変性エポキシ樹脂塗料、目標膜厚 60  $\mu$  m

ウ 下塗り：2回目はけ塗り、変性エポキシ樹脂塗料、目標膜厚 60  $\mu$  m

エ 下塗り：3回目はけ塗り、変性エポキシ樹脂塗料、目標膜厚 60  $\mu$  m

オ 下塗り：4回目はけ塗り、変性エポキシ樹脂塗料、目標膜厚 60  $\mu$  m

カ 中塗り：1回目はけ塗り、フッ素系樹脂塗料、目標膜厚 30  $\mu$  m

キ 上塗り：1回目はけ塗り、フッ素系樹脂塗料、目標膜厚 25  $\mu$  m

## 5 施工環境

塗装は原則として、以下の場合には行ってはならない。

- (1) 気温 5℃以下のとき
- (2) 湿度 85%以上のとき

- (3) 塗料の乾燥前に降雨雪又はそのおそれがあるとき
- (4) 強風などで埃が多いとき
- (5) 炎天下で直射日光に曝されているとき
- (6) 被塗面に湿気を帯びているとき
- (7) 被塗面に結露するおそれがあるとき

## 6 塗料の管理

### (1) 品質

イ 塗料の品質は原則として塗料製造業者のロットごとの検査成績書により判断すること。また、塗料の有効期限を過ぎたものは使用しないこと。

ロ 塗装着手前にロット番号を確認し、ロットごとに1缶以上を開缶し、異常があった場合は、そのロット品は使用してはならない。

### (2) 取扱い及び保管

塗料は消防法による危険物であり、また、一部には労働安全衛生法などにより規制を受けるものがあるので、開缶、取扱い、保管はこれらの法規に従って行うこと。

## 7 素地調整

ケレンは、1種ケレンとして旧塗膜、錆を除去し鋼材面を露出させるため、循環式ブラスト工法と同等以上の工法により除去すること。また、発生する産業廃棄物は1.5kg/m<sup>2</sup>程度を見込んでいるが、それにより難しい場合は、事前に監督員の承諾を得ること。

## 8 塗装方法

(1) 水管橋の塗替塗装は、本特記仕様書で指定された塗料を使用し、原則としてはけ塗りとし、有害な欠陥がないように均等かつ入念に行うこと。また、それぞれ塗料の塗装間隔に十分留意するとともに以下によって行うこと。

ア 塗膜損傷部分は入念に補修すること。

イ 被塗装面表面に付着した水分、油分、付着物は清浄なウエス等で入念に除去すること。

ウ 塗装間隔は、環境条件・既設（温度条件）などにより異なるため、塗料製造業者が規定した範囲内で塗り重ねを行うこと。

## 9 塗料及び塗膜の品質

### (1) 塗料

塗料の品質は以下の規格に適合すること。

- ア 変性エポキシ樹脂下塗り塗料 JIS K 5551
- イ フッ素系樹脂塗料用中塗り塗料 JIS K 5659
- ウ フッ素系樹脂塗料用上塗り塗料 JIS K 5659

(2) 塗膜の品質

- ア 外観  
かすれ、たれ、割れ、剥離などの有害な欠陥がないこと。
- イ 乾燥状態  
硬化乾燥状態であること
- ウ 塗膜厚さ  
平均厚さが目標膜厚以上で、最低厚さが75%以上であること。
- エ 塗装色  
指定の塗装色が満足されていること。

10 塗料及び塗膜の検査

(1) 塗料

塗料製造業者の検査成績表をもとに、第9項第1号の規定に適合していること。

(2) 塗膜

- ア 外観  
硬化乾燥後、目視で検査し、第9項第2号アの規定に適合していること。
- イ 乾燥状態  
塗膜が硬化乾燥状態であるか否かを指触法により検査し、第9項第2号イの規定に適合していること。
- ウ 塗膜厚さ  
塗膜が硬化乾燥後、円周及び長さ方向に適切な測定場所を選び、電磁微厚計などで測定し、第9項第2項ウの規定に適合していること。
- エ 色  
硬化乾燥後、塗り見本の色と比較し、第9項第2号エの規定に適合していること。

11 塗装記録表示

塗装工事終了後、塗装年月、塗装工事施工業者名、塗装材質、塗料製造業者名等を記載した塗装記録をマーキングフィルムなどで表示すること。

12 仮設工

本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、仮設計画書を作成したうえ、受注者の責任において決定し実施するものとする。

### 1.3 使用材料

- (1) 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、標準仕様書に示す規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとする。ただし、監督職員が承認した材料及び設計図書に明示されていない仮設材料については除くものとする。
- (2) 工事用材料は、使用前に承認図、見本及び品質等の資料を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。
- (3) 受注者は、工事に使用する材料について、使用前にその外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を添えた材料確認願を提出し、監督職員の検査（確認を含む）を受けなければならない。その際、受注者は検査に立ち会うものとする。

### 1.4 廃棄物関係

- (1) 本橋梁の旧塗膜には有害物質（特別管理産業廃棄物（鉛）、（クロム）、PCB含有廃棄物）が含まれているため、塗膜くずには十分注意すること。
- (2) 塗膜くずの運搬は、現場内仮置き場に保管するよう見込んでいく。
- (3) 有害物質の除去に関する安全対策については、安全衛生保護具を見込んでいく。ただし、現場の実状に変更が生じた場合は変更の対象とする。

### 1.5 工事施行

施工にあたり、道路管理者及び所轄警察署の許可条件を遵守し、監督職員の指示に従って施工しなければならない。また、関係法令等を遵守し、十分な保安施設（工事看板、歩行者通路、車両通行の誘導等）の準備を整えたうえで施工しなければならない。

### 1.6 写真撮影と整理

写真撮影は、次の順序で実施、整理し、1部を提出すること。

- (1) 着手前状況写真
- (2) 仮設工
- (3) 水管橋塗替塗装工
- (4) 完成

## 1 7 禁止事項

- (1) 工事中の住民からの苦情は、受注者が対応すべき場合は誠意をもってその対応にあたり、発注者に苦情を持ち込まないこと。
- (2) 工事箇所沿線の私有地には、無断で出入り、物を破損することを禁止する。
- (3) 工事作業区域外は常に清掃し障害物を放置することを禁止する。
- (4) 工事日誌は、毎週提出の義務を怠ってはならない。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
維持修繕		式	1	レベル1
水管橋塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第3径間	m2	93	レベル4
素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第2径間	m2	91	レベル4
素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第1径間	m2	100	レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	第3径間	m2	93	レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	第2径間	m2	91	レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	第1径間	m2	100	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル3
塗替塗装	清掃・水洗い	m2	290	レベル4
塗替塗装	下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	m2	290	レベル4
塗替塗装	下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	m2	290	レベル4
塗替塗装	中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	290	レベル4
素地調整	上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	290	レベル4
構造物設置・撤去工		式	1	レベル2
構造物撤去工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
進入防止柵撤去工		箇所	2	レベル4
現場発生品運搬		t	0.14	レベル4
進入防止柵復旧工		基	2	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
単管足場		式	1	レベル4
防護工	板張り	式	1	レベル4
防護工	シート張	式	1	レベル4
防護工	ブラスト用養生シート	式	1	レベル4
土留・仮締切工		式	1	レベル3
仮設盛土		式	1	レベル4
掘削		式	1	レベル4
土のう製作・設置		式	1	レベル4
土のう設置		式	1	レベル4
土のう撤去		式	1	レベル4
残土運搬処分		式	1	レベル4
直接工事費				
安全費				

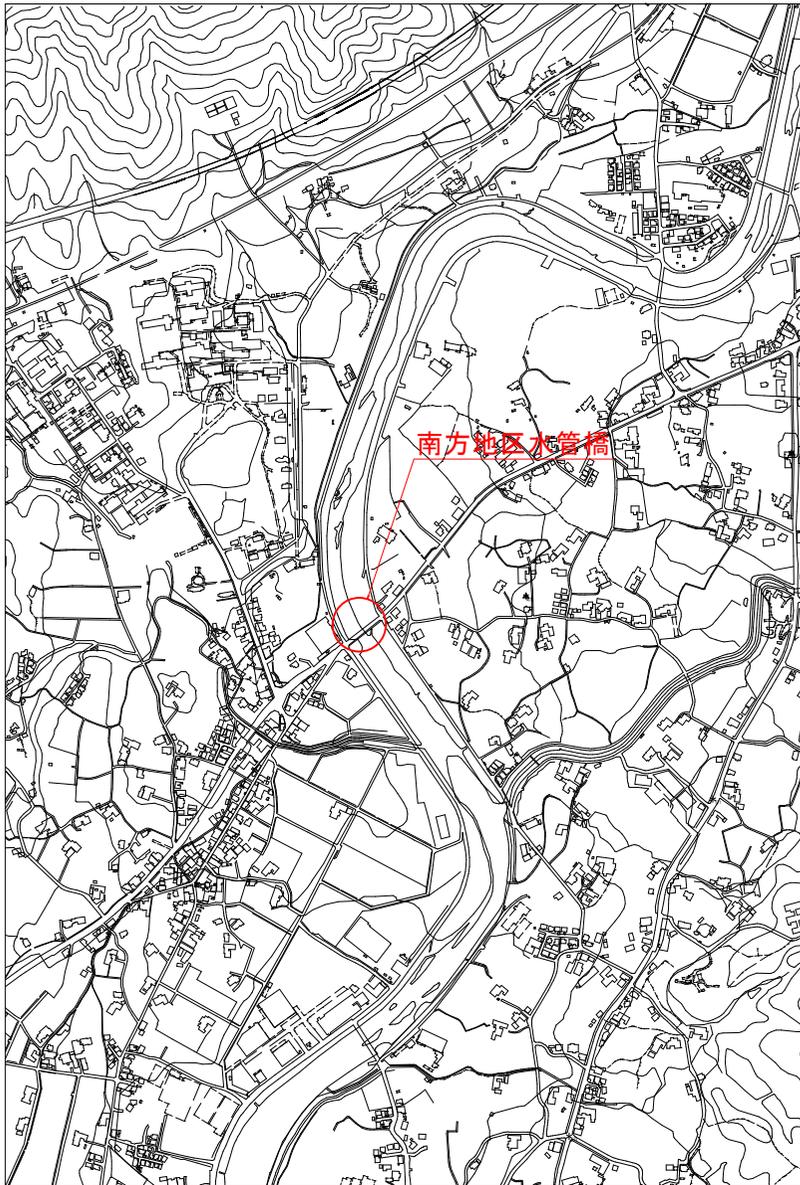
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
安全費		式	1	レベル2
安全費		式	1	レベル3
安全費		式	1	レベル4
共通仮設費率分額				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格計 **				
** 消費税相当額計 **				
** 請負工事費計 **				

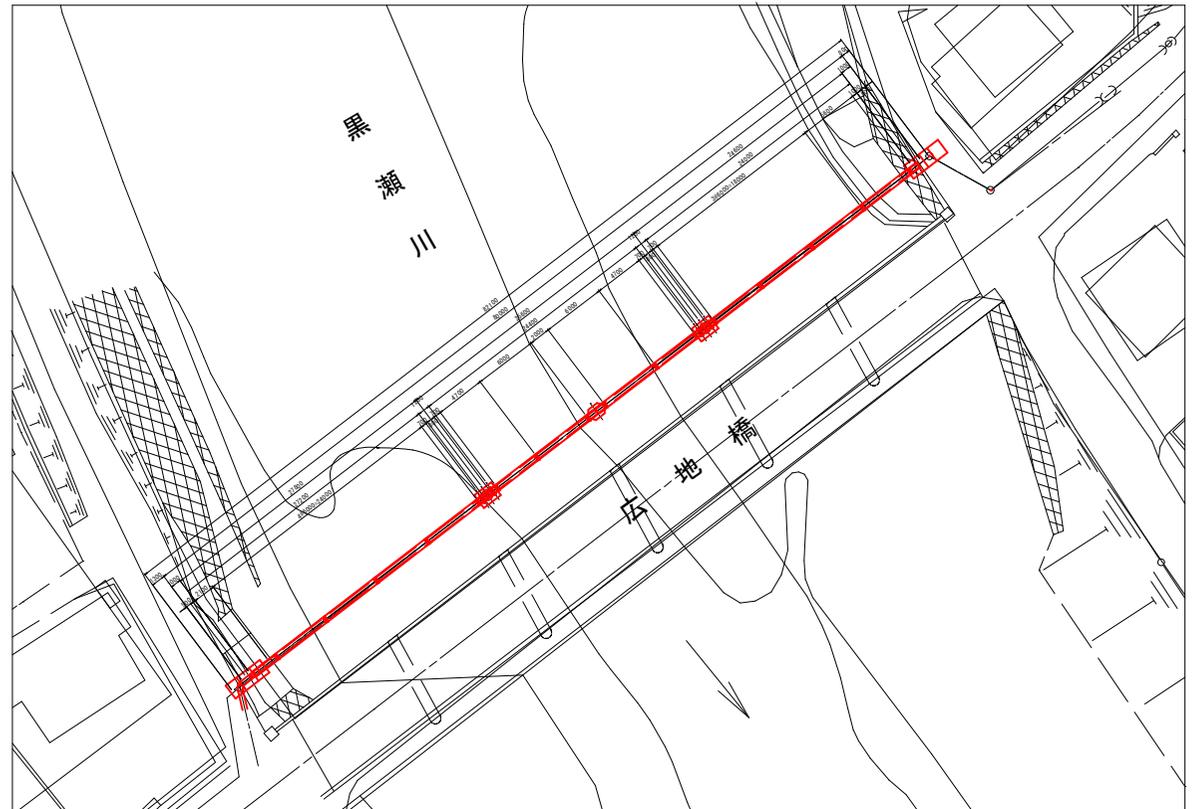
# 南方地区水管橋 位置図・平面図



位置図 S=1:5,000



平面図 S=1:250



工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 黒瀬(南方)地区水管橋建設工事		
図面名	南方地区水管橋 位置図・平面図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 7
工事箇所	東広島市黒瀬町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		

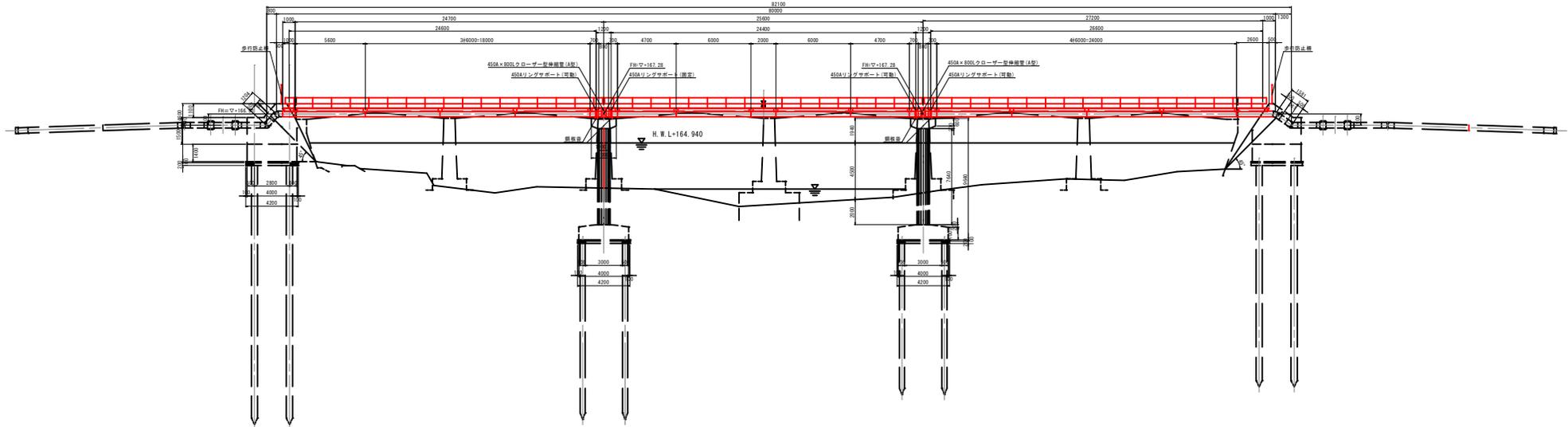
※1 本図面は、国土交通省国土院提供の基盤地図情報に基づくものである。



# 南方地区水管橋 補修図 (1)

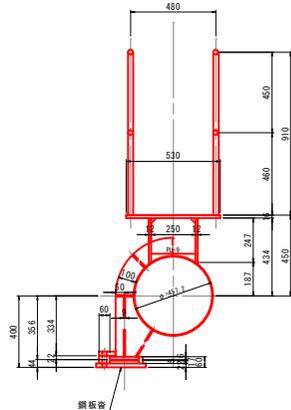
## (塗替え塗装工)

側面図 S=1:170

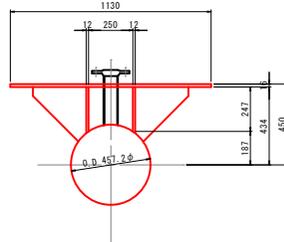


断面詳細図 S=1:15

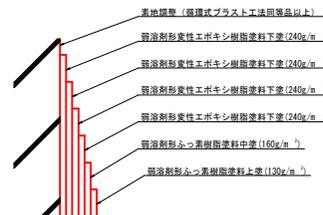
支点部 支間部



中央部断面図 S=1:15



塗替え塗装工(外面塗装)  
(参考図)



外面塗装仕様：N-4塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	1種 (循環式プラスト同等品)		4週間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	160	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	130	1日～10日

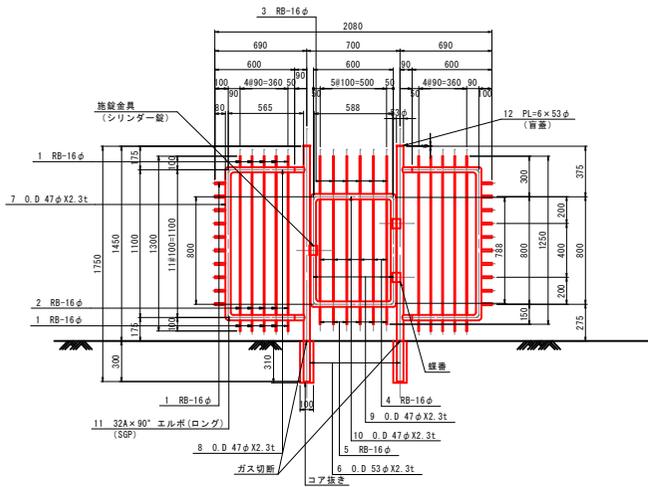
- ※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。
- ※ 部材法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ、脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 塗替え塗装工は、鋼部材 (水道管、転落防止橋、支索等) すべてを対象とする。
- ※ プラスト工法の実施にあたっては、令和4年5月18日厚生労働省通達安化発0518第1号制腐剤を使用した塗料の制腐作業における労働災害防止について (一部改正) の「制腐剤等を用いず乾式により制腐作業を行う場合において注意していただきたい事項」に留意し、ばく露防止のための措置と密閉空間で制腐作業を行う場合の措置を講じ労働者の健康障害防止に努めること。
- ※ 循環式プラスト工法協力会社の選定にあたっては、1m3当たりの研削材廃棄物が0.5kg程度となる施工会社を選定すること。
- ※ プラスト施工に先立って、材料使用承認済み及び下記の項目について技術資料 (公的な第三者機関の証明書) を提出し、監督員の承認を得ること。
- 使用する研削材の削減率 (99.9%以上)、再利用回数 (寿命値3500回以上)
- 使用する研削材の硬さと耐摩耗性能
- 使用する研削材の母材への削り確認
- ※ 角形断面仕上げについては、塗膜剥ぎ取り後、既設角部を確認のうえ、曲面仕上げが実施の場合は必要に応じて曲面仕上げを行うこと。
- ※ プラスト施工に先立って、事前に水道管の管径の調査を実施すること。管径が橋幅に深い箇所が確認された場合には、塗膜剥離を伴う等水道管に損傷を与えないように対策を行うこと。(最小適用厚6mm)

工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 黒瀬(南方)地区水管橋塗装塗装工事		
図面名	南方地区水管橋 補修図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 7
工事箇所	東広島市黒瀬町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		

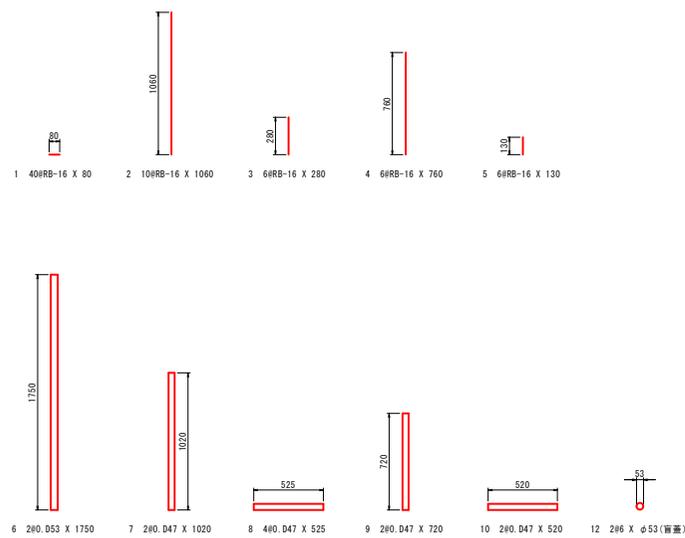
## 南方地区水管橋 補修図 (2) (進入防止柵撤去・復旧工)

進入防止柵撤去工 S=1:20

進入防止柵



鋼材詳細図

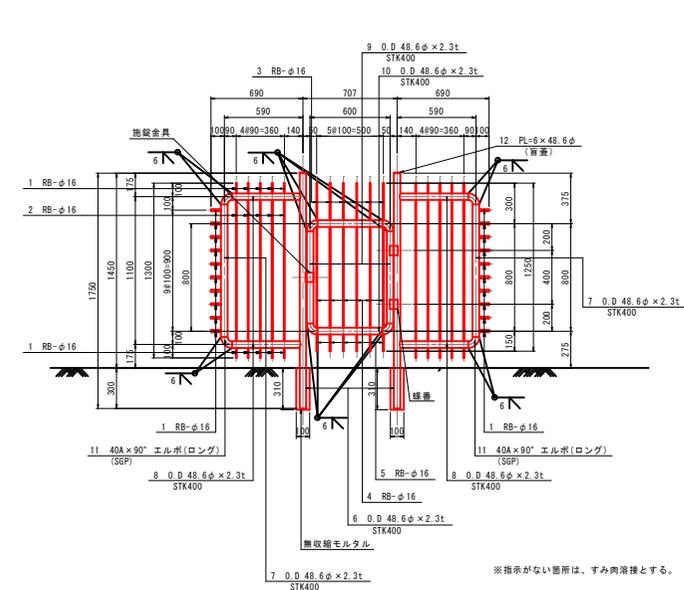


鋼材質量表 (1基当り)

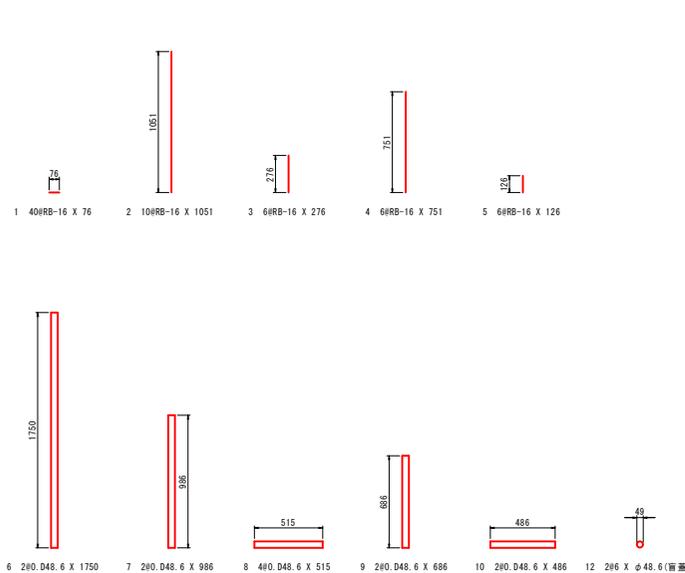
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	備考
1	RB-16	80	40	1.580	0.13	6	
2	RB-16	1060	10	1.580	1.67	17	
3	RB-16	280	6	1.580	0.44	3	
4	RB-16	760	6	1.580	1.20	8	
5	RB-16	130	6	1.580	0.21	2	
38							
6	0.0 53	1750	2	2.879	5.04	11	STK41
7	0.0 47	1020	2	2.539	2.59	6	STK41
8	0.0 47	525	4	2.539	1.33	6	STK41
9	0.0 47	720	2	2.539	1.83	4	STK41
10	0.0 47	520	2	2.539	1.32	3	STK41
11	32A	-	8	-	0.25	2	STK41
12	φ53	-	2	-	0.10	1	SS41
33							
合計 RB-16				36 kg			
STK41				32 kg			
SS41				1 kg			
総質量				69 kg			
線巻				N=2個			
施設金具				N=1個			

進入防止柵復旧工 S=1:20

進入防止柵



鋼材詳細図



鋼材質量表 (1基当り)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	備考
1	RB-16	76	40	1.580	0.12	5	
2	RB-16	1051	10	1.580	1.66	17	
3	RB-16	276	6	1.580	0.44	3	
4	RB-16	751	6	1.580	1.19	8	
5	RB-16	126	6	1.580	0.20	2	
35							
6	0.0 48.6	1750	2	2.630	4.60	10	STK400
7	0.0 48.6	986	2	2.630	2.59	6	STK400
8	0.0 48.6	515	4	2.630	1.35	6	STK400
9	0.0 48.6	686	2	2.630	1.80	4	STK400
10	0.0 48.6	486	2	2.630	1.28	3	STK400
11	A40	-	8	-	0.35	3	STK400
12	φ48.6	-	2	-	0.09	1	SS400
33							
合計 RB-16				35 kg			
STK400				32 kg			
SS400				1 kg			
総質量				68 kg			
線巻				N=2個			
施設金具				N=1個			

※指針がない箇所は、すみ肉溶接とする。

※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。  
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。  
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。  
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

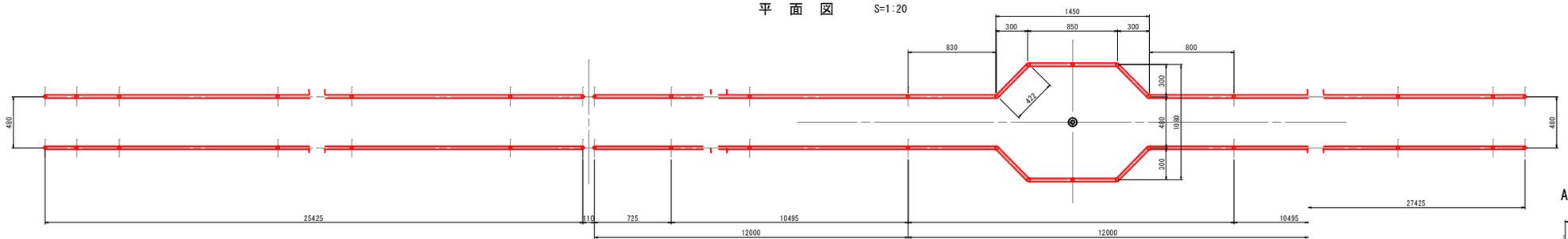
工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 黒瀬(南方)地区水管橋塗装修繕工事		
図面名	南方地区水管橋 補修図(2)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
工事箇所	東広島市黒瀬町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		

# 南方地区水管橋 塗装面積根拠図 (1)

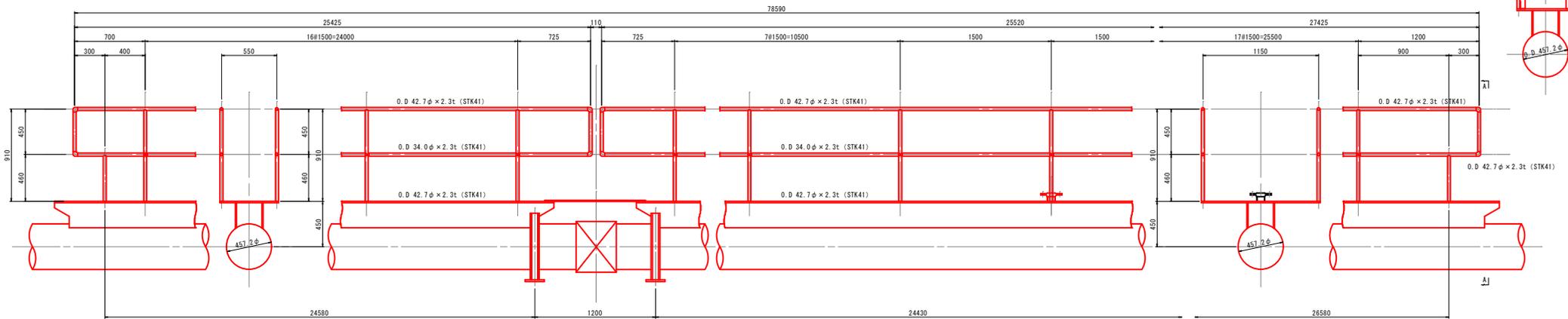
歩廊全体図 S=1:100



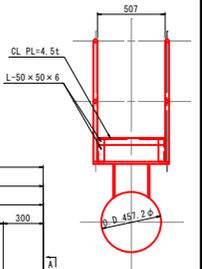
平面図 S=1:20



側面図 S=1:20



A-A 矢視

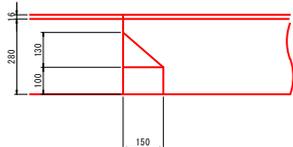


※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。  
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。  
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。  
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

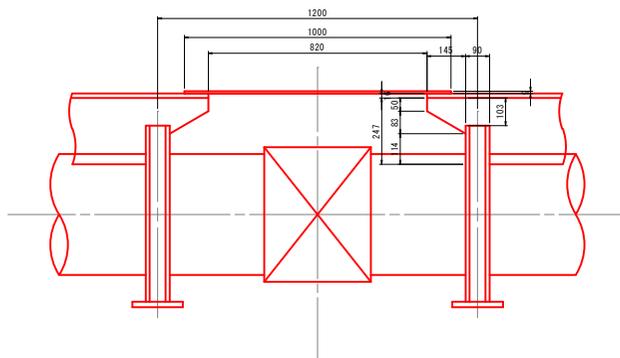
工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 島根(南方)地区水管橋塗装建設工事		
図面名	南方地区水管橋 塗装面積根拠図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 7
工事箇所	東広島市黒瀬町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		

# 南方地区水管橋 塗装面積根拠図 (2)

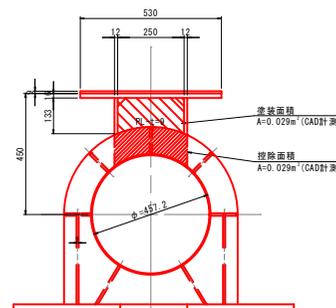
補剛材両端部詳細 S=1:10



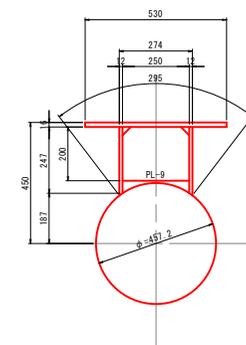
伸縮部接手材・補剛材詳細 S=1:10



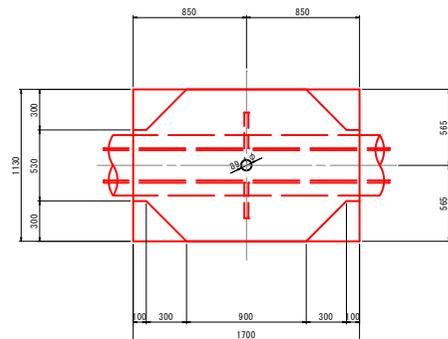
サポート部補剛材詳細 S=1:10



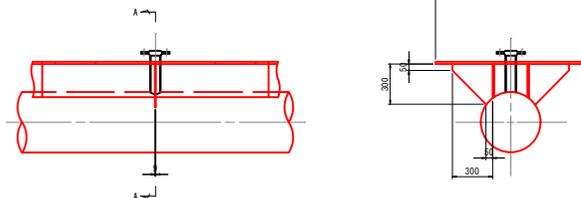
補剛材詳細 S=1:10



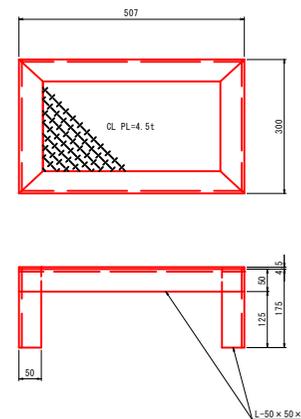
中央部補剛材詳細 S=1:20



A-A断面図



ステップ詳細 S=1:6



※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。  
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。  
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。  
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 風瀬(南方)地区水管橋塗装修繕工事		
図面名	南方地区水管橋 塗装面積根拠図 (2)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 7
工事箇所	東広島市風瀬町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		



## 参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 管路更新(耐震化)事業  
黒瀬(南方)地区水管橋塗装塗替工事

### <注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。  
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を  
するものではありません。
- 3 本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか、  
広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定『設計・施工指針（施工指針編）』  
同 『設計・施工指針（配管標準図集）』  
同 『土工断面工事写真撮影例』  
同 『立会・段階確認項目一覧表』  
に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます

ホームページ

>事業者の皆様

>関係規程・各種様式 - 東広島事務所

>各種様式等ダウンロード

(東広島事務所工務課でもCDを貸し出ししております。)

#### 4 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	黒瀬資源再利用センター株式会社	東広島市黒瀬町大多田字大十田 302-52	5.6km

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 45 東広島市(黒瀬) 00-07.06.01(0)  N 水道(R02.01~)	凡例 Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 01 開削及小口径推進工事等 00 補正なし 03 一般交通影響あり 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 率分額計上しない 00 通常工事 0% 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
維持修繕					Y1K03 レベル1
水管橋塗装工	1	式			Y1K0305 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y3999 レベル3
素地調整 1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第3径間	93	m2			Y4999 レベル4
素地調整 1種ケレン 循環式プラスト工法	93	m2			F3001 00
素地調整 1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第2径間	91	m2			Y4999 レベル4
素地調整 1種ケレン 循環式プラスト工法	91	m2			F3001 00
素地調整 1種ケレン 循環式プラスト工法同等品,第1径間	100	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 1種ケレン 循環式ブラスト工法	100	m2			F3001 00
研削材及びケレンかす回収・積込工 第3径間	93	m2			Y4999 レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	93	m2			F3002 00
研削材及びケレンかす回収・積込工 第2径間	91	m2			Y4999 レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	91	m2			F3002 00
研削材及びケレンかす回収・積込工 第1径間	100	m2			Y4999 レベル4
研削材及びケレンかす回収・積込工	100	m2			F3002 00
現場塗装工	1	式			Y1K030501 レベル3
塗替塗装 清掃・水洗い	290	m2			Y1K03050101 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 清掃・水洗い	290	m2			SDT00029 00 単第0 -0001 表
塗替塗装 下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	290	m2			Y1K03050101レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	290	m2			SDT00029 00 単第0 -0002 表
塗替塗装 下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	290	m2			Y1K03050101レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	290	m2			SDT00029 00 単第0 -0002 表
塗替塗装 中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	290	m2			Y1K03050101レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	290	m2			SDT00029 00 単第0 -0003 表
素地調整 上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	290	m2			Y1K03050101レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	290	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物設置・撤去工					Y2999 レベル2
	1	式			
構造物撤去工					Y3999 レベル3
	1	式			
進入防止柵撤去工					Y4999 レベル4
	2	箇所			
ガス切断(手動)【材工共】 陸上施工 板厚2mm以上10mm未満					TL278 00
	0.7	m			
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径100mm以上110mm未満 削孔深さ200mm以上400mm以下					SPK24040120 00
	4	孔			単第0 -0005 表
現場発生品運搬					Y4999 レベル4
	0.14	t			
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)					SPK24040410 00
	0.14	t			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下					T100E007 00
	-0.14	t			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
進入防止柵復旧工					Y4999 レベル4
	2	基			
支柱(立入防止柵) 鋼管基礎 支柱柵高2m以下					SPK24040254 00
	4	本			単第0 -0007 表
進入防止柵 STK400、SS400					F0001 00
	2	基			
仮設工					Y1K0308 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
単管足場					Y4999 レベル4
	1,320	掛m2			
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場 安全ネット設置					S0380 00
	1,320	掛m2			単第0 -0008 表
防護工 板張り					Y4999 レベル4
	200	m2			
防護工(床版補強工) 板張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	200	m 2			単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護工 シート張	200	m2			Y4999 レベル4
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	200	m 2			S3030015 00 単第0 -0010 表
防護工 プラスト用養生シート	200	m2			Y4999 レベル4
プラスト用養生シート	200	m2			F3003 00
土留・仮締切工	1	式			Y3999 レベル3
仮設盛土	690	m3			Y4999 レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	30	m3			SPK24040004 00 単第0 -0011 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	660	m3			SPK24040004 00 単第0 -0012 表
購入土運搬	690	m3			V1001 00 単第0 -0013 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削					Y4999 レベル4
	680	m3			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満					SPK24040001 00
	680	m3			単第0 -0015 表
土のう製作・設置					Y4999 レベル4
	844	袋			
大型土のう製作・設置(BH設置)					V1002 00
	844	袋			単第0 -0016 表
土のう設置					Y4999 レベル4
	1,544	袋			
大型土のう設置 作業半径 6m以下					SHD10009 00
	1,544	袋			単第0 -0019 表
土のう撤去					Y4999 レベル4
	844	袋			
大型土のう撤去 作業半径 6m以下					SHD10011 00
	844	袋			単第0 -0021 表
残土運搬処分					Y4999 レベル4
	1,180	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	1,180	m3			VSW605028 00  単第0 -0023 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 黒瀬資源再利用センター	1,180	m3			F2001 00
直接工事費					
安全費					Z0004
安全費	1	式			YZZ04 レベル2
安全費	1	式			YZZ04001 レベル3
安全費	1	式			YZZ04001001 レベル4
安全費 鉛対応環境対策資機材 第3径間	1	式			V2001 00  単第0 -0028 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費 鉛対応安全衛生保護具 第3径間	1	式			V2002 00  単第0 -0029 表
安全費 鉛対応環境対策資機材 第2径間	1	式			V2003 00  単第0 -0030 表
安全費 鉛対応安全衛生保護具 第2径間	1	式			V2004 00  単第0 -0031 表
安全費 鉛対応環境対策資機材 第1径間	1	式			V2005 00  単第0 -0032 表
安全費 鉛対応安全衛生保護具 第1径間	1	式			V2006 00  単第0 -0033 表
共通仮設費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事原価					
一般管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正.....  対象額合計... 処分費.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額...
一般管理費計					
** 工事価格計 **					
** 消費税相当額計 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 請負工事費計 **					









# 施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0005 表

削孔径100mm以上110mm未満

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 3.16% 労務構成比:

64.69% 材料構成比: 32.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,686.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.66%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.98%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0mm,一般用 コンクリート削孔用	28.95%		ダイヤモンドビット 110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014



# 施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0006 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,144.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=10 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 DID区間無し		

# 施工単価表

支柱(立入防止柵)

SPK24040254

単第0 -0007 表

鋼管基礎

支柱柵高2m以下

1

本 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,370.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	80.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 鋼管基礎 -(全ての費用)			B=1 支柱柵高2m以下		

# 施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場  
単管足場

S0380  
安全ネット設置

単第0 -0008 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009
とび工	8.400	人			RTPC00004
普通作業員	1.800	人			安全ネット設置含む RTPC00002
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.800	日			KTPC00014
諸雑費	27	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=2	安全ネットを設置する	





# 施工単価表

路体(築堤)盛土  
 施工幅員2.5m以上4.0m未満  
 機械構成比: 15.86% 労務構成比: 75.54%

SPK24040004

単第0 -0011 表

1 m3 当り  
 標準単価: 827.03000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.30%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	66.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

# 施工単価表

路体(築堤)盛土  
 施工幅員4.0m以上

SPK24040004

単第0 -0012 表

施工数量20,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 17.97% 労務構成比:

66.93% 材料構成比: 15.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

231.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0014 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.5km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,190.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=20 距離6.5km以下(5.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

掘削  
土砂 オープンカット 押土無し

SPK24040001

単第0 -0015 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.26% 労務構成比:

36.73%

材料構成比: 19.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

328.03000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		



# 施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0017 表

頁0 -0029

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			RTPC00009 1*0.278
特殊作業員	0.278	人			RTPC00001 1*0.278
普通作業員	0.278	人			RTPC00002 1*0.278
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			TH000554
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			S9035 単第0-0018 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

10 袋 当り



# 施工単価表

大型土のう設置  
作業半径 6m以下

SHD10009

単第0 -0019 表

頁0 -0031

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.116	人			RTPC00009 1*0.116
特殊作業員	0.116	人			RTPC00001 1*0.116
普通作業員	0.116	人			RTPC00002 1*0.116
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.116	日			S9035 単第0-0020 表
諸雑費	1	式			#91
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 作業半径 6m以下					











# 施工単価表

ダンプトラック運転  
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0025 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			T0202
運転手(一般)	1.00	人			R0150
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			M0352
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			K1019
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=32 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.29 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK24040007

単第0 -0026 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 43.43% 労務構成比: 37.88%

材料構成比: 18.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

236.18000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	43.43%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	37.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0027 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,020.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

安全費  
鉛対応環境対策資機材

V2001

単第0 -0028 表

1

式 当り

第3径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料	0.5	台・月			F0002
鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッ	16	本			F0003
エア-シャワー賃料	0.5	台・月			F0004
エア-シャワー用1次フィルター	1	枚			F0005
エア-シャワー用HEPAフィルター	1	枚			F0006
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1	箇所			F0007
真空掃除機賃料	0.5	月			F0008
真空掃除機用1次フィルター	1	枚			F0009
真空掃除機用2次フィルター	1	枚			F0010
掃除機用HEPAフィルター	1	個			F0011
諸雑費	1	式			F0012
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

安全費  
鉛対応安全衛生保護具

V2002

単第0 -0029 表

1

式 当り

第3径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
エコクリーンクールスーツ 上	12	着			F0013
エコクリーンクールスーツ 下	12	着			F0014
送気ユニット 接続器共	12	組			F0015
定置式ろ過筒 4人用、ろ過フィルター含む	3	台			F0016
エアラインホース 9、L=20m	12	本			F0017
エアラインホース 19、L=25m、定置ろ過筒	3	本			F0018
防塵マスク	12	個			F0019
防塵マスク用フィルター 交換用含む	24	個			F0020
防護手袋	72	組			F0021
防護長靴 12人分	12	足			F0022
諸雑費	1	式			F0023
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

安全費  
鉛対応環境対策資機材

V2003

単第0 -0030 表

1

式 当り

第2径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料	0.5	台・月			F0002
鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッ	16	本			F0003
エア-シャワー賃料	0.5	台・月			F0004
エア-シャワー用1次フィルター	1	枚			F0005
エア-シャワー用HEPAフィルター	1	枚			F0006
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1	箇所			F0007
真空掃除機賃料	0.5	月			F0008
真空掃除機用1次フィルター	1	枚			F0009
真空掃除機用2次フィルター	1	枚			F0010
掃除機用HEPAフィルター	1	個			F0011
諸雑費	1	式			F0012
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

安全費  
鉛対応安全衛生保護具

V2004

単第0 -0031 表

1

式 当り

第2径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
エコクリーンクールスーツ 上	12	着			F0013
エコクリーンクールスーツ 下	12	着			F0014
送気ユニット 接続器共	12	組			F0015
定置式ろ過筒 4人用、ろ過フィルター含む	3	台			F0016
エアラインホース 9、L=20m	12	本			F0017
エアラインホース 19、L=25m、定置ろ過筒	3	本			F0018
防塵マスク	12	個			F0019
防塵マスク用フィルター 交換用含む	24	個			F0020
防護手袋	72	組			F0021
防護長靴 12人分	12	足			F0022
諸雑費	1	式			F0023
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

安全費  
鉛対応環境対策資機材

V2005

単第0 -0032 表

1

式 当り

第1径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉛対応集塵装置賃料	0.5	台・月			F0002
鉛対応集塵機用カートリッジフィルタ、パッ	16	本			F0003
エア-シャワー賃料	0.5	台・月			F0004
エア-シャワー用1次フィルター	1	枚			F0005
エア-シャワー用HEPAフィルター	1	枚			F0006
クリーンルーム 簡易セキュリティールーム	1	箇所			F0007
真空掃除機賃料	0.5	月			F0008
真空掃除機用1次フィルター	1	枚			F0009
真空掃除機用2次フィルター	1	枚			F0010
掃除機用HEPAフィルター	1	個			F0011
諸雑費	1	式			F0012
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

安全費  
鉛対応安全衛生保護具

V2006

単第0 -0033 表

1

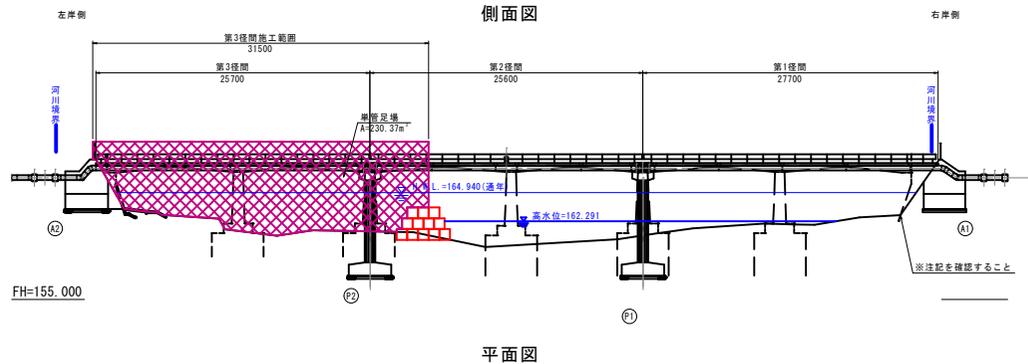
式 当り

第1径間

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
エコクリーンクールスーツ 上	12	着			F0013
エコクリーンクールスーツ 下	12	着			F0014
送気ユニット 接続器共	12	組			F0015
定置式ろ過筒 4人用、ろ過フィルター含む	3	台			F0016
エアラインホース 9、L=20m	12	本			F0017
エアラインホース 19、L=25m、定置ろ過筒	3	本			F0018
防塵マスク	12	個			F0019
防塵マスク用フィルター 交換用含む	24	個			F0020
防護手袋	72	組			F0021
防護長靴 12人分	12	足			F0022
諸雑費	1	式			F0023
*** 単位当たり ***	1	式			

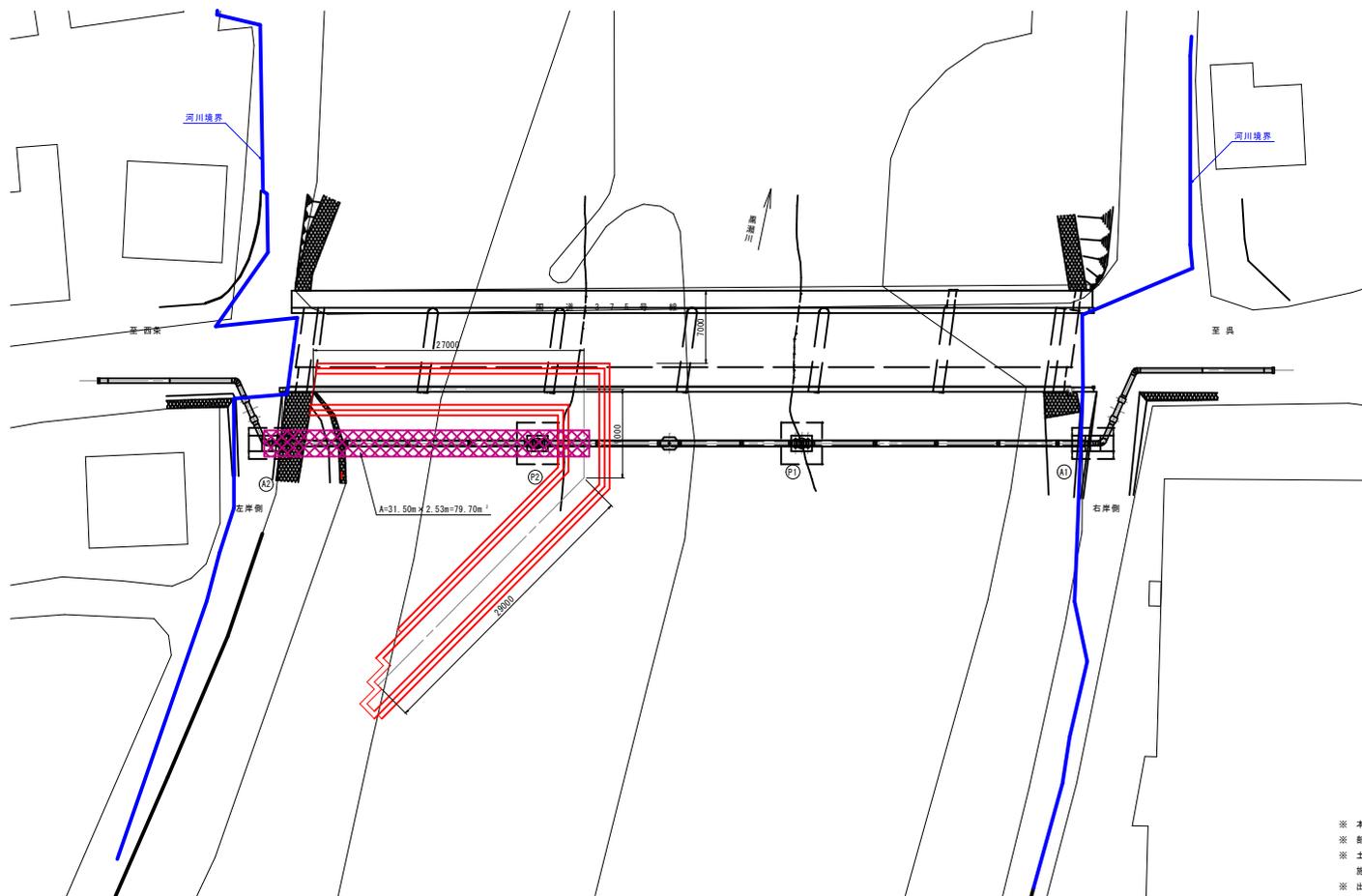
# 施工計画図(案) (1) S=1:250

## 第3径間

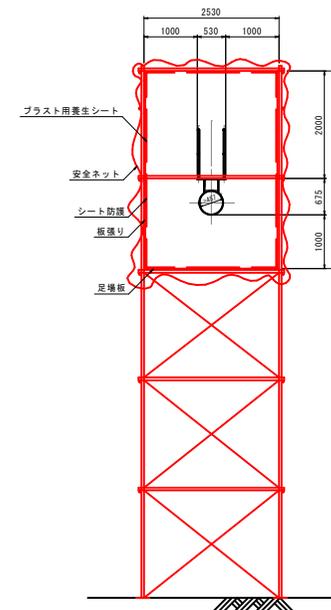


FH=155.000

平面図



単管足場標準図 S=1:50



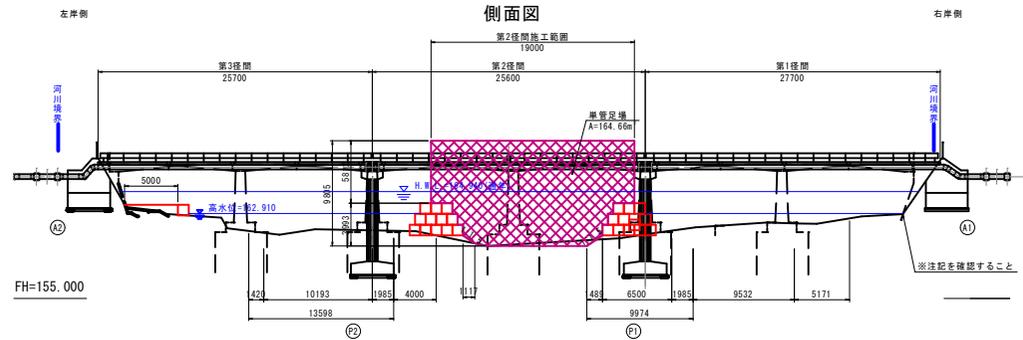
積算参考図

- ※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。
- ※ 郵材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土工計画図は現地調査を基にベーパーロケーションにより作成したため、施工前に現地測量を実施し掘削範囲と数量について確認すること。
- ※ 出水時の洗堀により、右岸側護岸の基礎が露出する恐れがある場合には、根固め工などの処置を事前に行うこと。
- ※ 施工前に試掘を行うなどして、護岸基礎の天端高を確認した上で河床掘削を行うこと。

工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 鳥居(南方)地区水管補修工事		
図面名	施工計画図(案) (1) (第3径間)		
縮尺	図示	図面番号	/
工事箇所	東広島市鳥居町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		

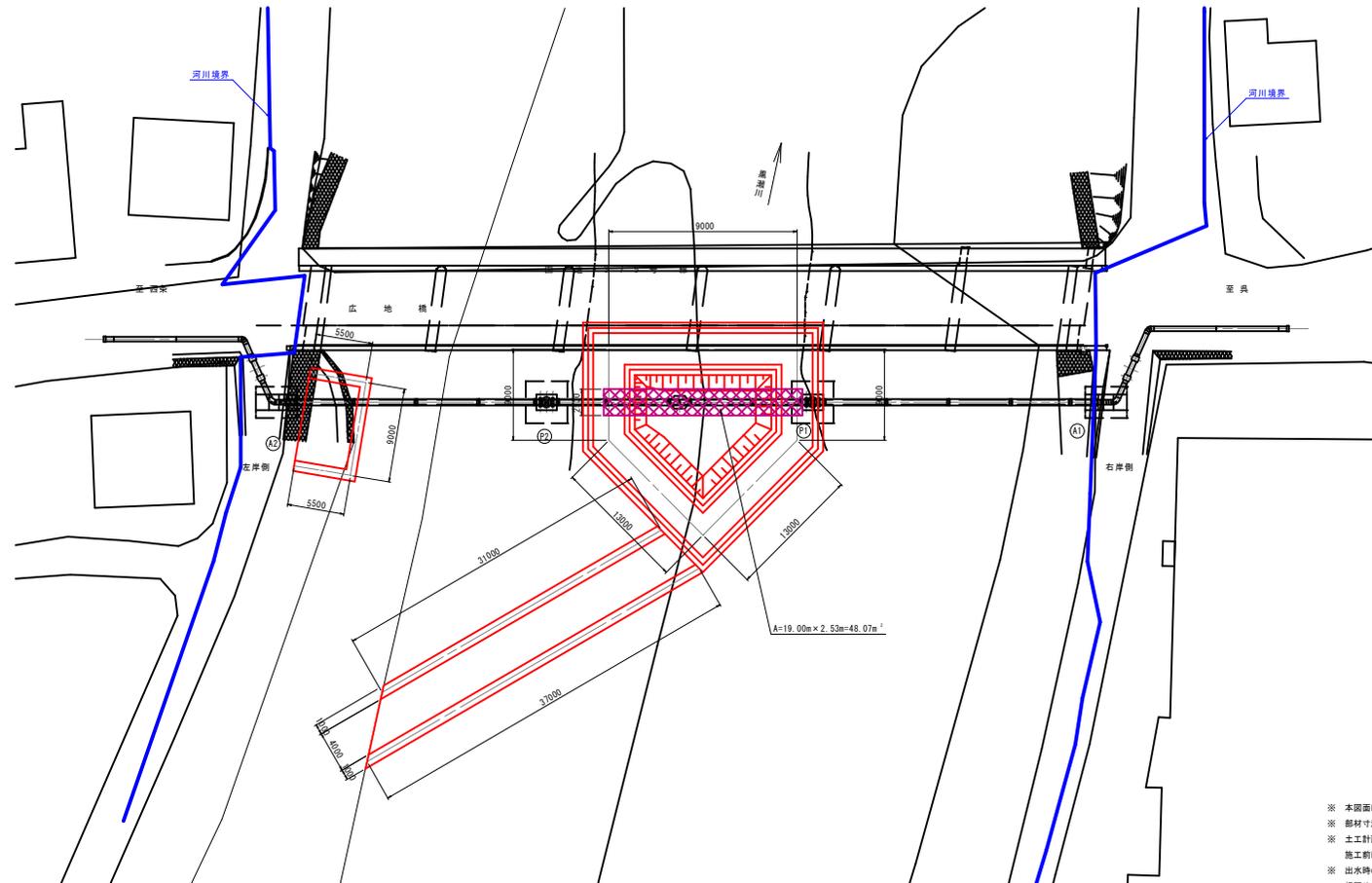
施工計画図(案) (2) S=1:250

第2径間

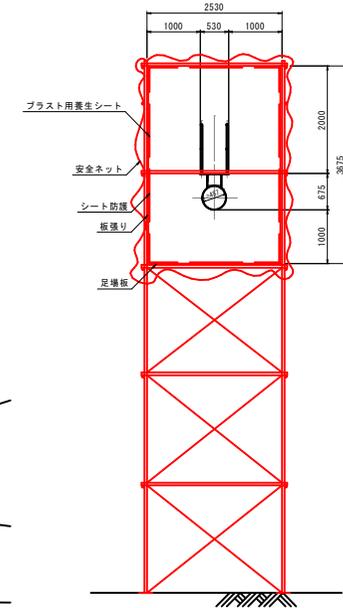


FH=155.000

平面図



単管足場標準図 S=1:50



積算参考図

- ※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易測量結果に基づき作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土工計画図は現地測量を基にベーパーロケーションにより作成したため、施工前に現地測量を実施し掘削範囲と数量について確認すること。
- ※ 出水時の洗堀により、右岸側護岸の基礎が露出する恐れがある場合には、根拠め工などの処置を事前に行うこと。
- ※ 施工前に試掘を行うなどして、護岸基礎の天端高を確認した上で河床掘削を行うこと。

工事名	令和7年度 管線更新(耐震化)事業 鳳凰(南方)地区水管構造改良工事		
図面名	施工計画図(案) (2) (第2径間)		
縮尺	図示	図面番号	/
工事箇所	東広島市鳳凰町南方		
事業者名	広島県水道広域連合企業団東広島事務所		



1.1 補修数量総括表

橋梁名：南方地区水管橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レ ベ ル 格 5	単 位	数 量	備 考
橋梁保全工事	現場塗装工	橋梁塗装工	素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品以上	m <sup>2</sup>	93.0	第3径間施工時
			素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品以上	m <sup>2</sup>	91.0	第2径間施工時
			素地調整	1種ケレン 循環式プラスト工法同等品以上	m <sup>2</sup>	100.0	第1径間施工時
		塗替え塗装 N-4塗装系	研削材（グリット）およびケレンかす運搬工	m <sup>2</sup>	93.0	第3径間施工時	
			研削材（グリット）およびケレンかす運搬工	m <sup>2</sup>	91.0	第2径間施工時	
			研削材（グリット）およびケレンかす運搬工	m <sup>2</sup>	100.0	第1径間施工時	
			清掃・水洗い	m <sup>2</sup>	290.0		
			下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：240g/m <sup>2</sup>
			下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：240g/m <sup>2</sup>
			下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：240g/m <sup>2</sup>
		下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：240g/m <sup>2</sup>	
		中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：160g/m <sup>2</sup>	
		上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m <sup>2</sup>	290.0	標準塗布量：130g/m <sup>2</sup>	
		環境対策資機材		式	-	安全費にて計上	
	安全衛生防護具		式	-	安全費にて計上		
	進入防止柵撤去復旧工	進入防止柵撤去工	ガス切断切削仕上工		m	0.7	
			コア削孔	φ100×310	孔	4.0	
			既設部材撤去工		t	0.14	
		進入防止柵復旧工	進入防止柵		基	2.0	
			建込		ヶ所	4.0	
	橋梁保全工事	仮設工	仮設足場工	単管足場		掛m <sup>2</sup>	1320
防護工				TYPE B 板張防護工（両側）	m <sup>2</sup>	200	
				TYPE B シート張防護工（両側）	m <sup>2</sup>	200	
				プラスト用養生シート	m <sup>2</sup>	200	
仮設土工			掘削工	機械掘削，オープンカット	m <sup>3</sup>	680	
			盛土	幅員2.5～4.0m	m <sup>3</sup>	30	
				幅員4.0m以上	m <sup>3</sup>	660	
			大型土のう工	作成・設置	個	844	
				設置	個	1544	
				撤去	個	844	
			残土処分	土砂等運搬	m <sup>3</sup>	1180	
				処分費	m <sup>3</sup>	1180	
環境対策資機材費			環境対策資機材		式	1	
			安全衛生防護具		式	1	

## 1.2 橋梁塗装工

補修図(1), 塗装面積根拠図(1)~(3)より

### 1.2.1 塗替え塗装工 (N-4塗装系)

#### (1) 塗装面積

本水管橋 塗歴版より

$$A = 285.100 = 285.100 \text{ m}^2$$



#### (2) 素地調整 (1種ケレン 循環式ブラスト工法同等品以上) 第3径間

$$A = 285.100 \times 26.200 / 80.000 = 93.370 = 93.370 \text{ m}^2$$

#### 素地調整 (1種ケレン 循環式ブラスト工法同等品以上) 第2径間

$$A = 285.100 \times 25.600 / 80.000 = 91.232 = 91.232 \text{ m}^2$$

#### 素地調整 (1種ケレン 循環式ブラスト工法同等品以上) 第1径間

$$A = 285.100 \times 28.200 / 80.000 = 100.498 = 100.498 \text{ m}^2$$

#### (3) 研削材(グリット)およびケレンかす回収工 第3径間

$$A = 93.370 = 93.370 \text{ m}^2$$

#### 研削材(グリット)およびケレンかす回収工 第2径間

$$A = 91.232 = 91.232 \text{ m}^2$$

#### 研削材(グリット)およびケレンかす回収工 第1径間

$$A = 100.498 = 100.498 \text{ m}^2$$



### 1.3 進入防止柵撤去復旧工

補修図 (2) より

#### 1.3.1 進入防止柵撤去工

##### (1) ガス切断切削仕上工

$$L = 0.053 \times \pi \times 2 \times 2 = 0.666 \text{ m}$$

##### (2) コア削孔 ( $\phi 100 \times 310$ )

$$N = 2 \times 2 = 4 \text{ 孔}$$

##### (3) 既設部材撤去工

$$W = 69.000 \times 2 = 138.000 \text{ kg}$$

$$N = 2 = 2 \text{ 部材}$$

#### 1.3.2 進入防止柵復旧工

##### (1) 進入防止柵

$$N = 2 = 2 \text{ 基}$$

##### (2) 進入防止柵建込

$$N = 2 \times 2 = 4 \text{ ヶ所}$$

## 1.4 運搬処理工

### 1.4.1 現場発生品運搬

#### (1) 進入防止柵

$$W = 138.0 / 1000.00 = 0.138 \text{ t}$$

## 1.5 仮設工

施工計画図(案) (1~3) より

### 1.5.1 仮設足場

#### (1) 単管足場

$$A = ( 230.370 + 164.660 + 232.300 ) \times 2.530 / 1.200 = 1322.621 \text{ 掛m}^2$$

#### (2) 防護工 (TYPE B 板張防護)

$$A = 79.700 + 48.070 + 73.370 = 201.140 \text{ m}^2$$

#### (3) 防護工 (TYPE B シート張防護)

$$A = 201.140 = 201.140 \text{ m}^2$$

### 1.5.2 仮設土工 (土工集計表より)

#### (1) 掘削

$$V = 680.700 = 680.700 \text{ m}^3$$

#### (2) 盛土(幅員2.5~4.0m)

$$V = 32.500 = 32.500 \text{ m}^3$$

#### (3) 盛土(幅員4.0m以上)

$$V = 664.100 = 664.100 \text{ m}^3$$

(4) 大型土のう工(製作・設置)

第3径間施工時

$$N1 = ( 27.0 + 9.0 + 29.0 ) \times 12 = 780 \text{ 個}$$

第2径間施工時

$$N2 = ( 13.0 + 13.0 + 9.0 + 9.0 + 19.0 ) \\ \times 12 + ( 5.5 + 5.5 + 9.0 + 31.0 \\ + 37.0 ) - 780 = 64 \text{ 個}$$

第1径間施工時 (N≥0)

$$N3 = ( 26.0 + 9.0 + 14.0 ) \times 12.0 + ( 41.0 \\ + 41 + 32.0 + 26.0 + 21.0 + 15.0 ) \\ - ( 780.0 + 64 ) = 0 \text{ 個}$$

---

$$\Sigma N = 844 \text{ 個}$$

(5) 大型土のう工(設置)

第2径間施工時

$$N1 = ( 13.0 + 13.0 + 9.0 + 9.0 + 19.0 ) \\ \times 12 + ( 5.5 + 5.5 + 9.0 + 31.0 \\ + 37.0 ) - 64 = 780 \text{ 個}$$

第1径間施工時

$$N2 = ( 26.0 + 9.0 + 14.0 ) \times 12.0 + ( 41.0 \\ + 41 + 32.0 + 26.0 + 21.0 + 15.0 ) = 764 \text{ 個}$$

---

$$\Sigma N = 1544 \text{ 個}$$

(6) 大型土のう工(撤去)

第2径間施工時

$$N1 = 844.0 - 764.0 = 80 \text{ 個}$$

第1径間施工時

$$N2 = 764.0 = 764 \text{ 個}$$

---

$$\Sigma N = 844 \text{ 個}$$

(7) 残土処分

$$V = 595.020 \div 1.200 + 680.000 = 1175.850 \text{ m}^3$$



土工

土工計算書

(第2径間:掘削)

測点	距離	掘削		工事用道路撤去						摘要
		断面	土砂 数量	断面	土砂 数量	断面	数量	断面	数量	
第2径間施工時 河床掘削	5.2	0.0	7.4							
		2.8								
	6.5	0.0	9.2							
第2径間施工時 工事用道路					136.0					
合計	11.7		16.6		136.0					

土工

土工計算書

(第2径間:盛土)

測点	距離	盛土 2.5m以上4.0m未満		盛土 4.0m以上						摘要
		断面	数量	断面	数量	断面	数量	断面	数量	
第2径間施工時 仮締切工	9.0	0.9								左岸側盛土
	13.0	0.9	8.2							左岸側盛土
	13.0	0.0								右岸側盛土
		0.8	5.1							右岸側盛土
	9.0	0.8	7.1							右岸側盛土
										下流側盛土
										下流側盛土
施工ヤード	9.0			2.9						
				2.9	26.4					
工事用道路	34.0			4.0						
				4.0	136.0					
合計	87.0		32.5		162.4					

土工

土工計算書

(第1径間:掘削)

測点	距離	掘削		工事用道路撤去						摘要
		断面	土砂 数量	断面	土砂 数量	断面	数量	断面	数量	
第1径間施工時 工事用道路					501.7					
施工ヤード					26.4					
合計					528.1					

土工

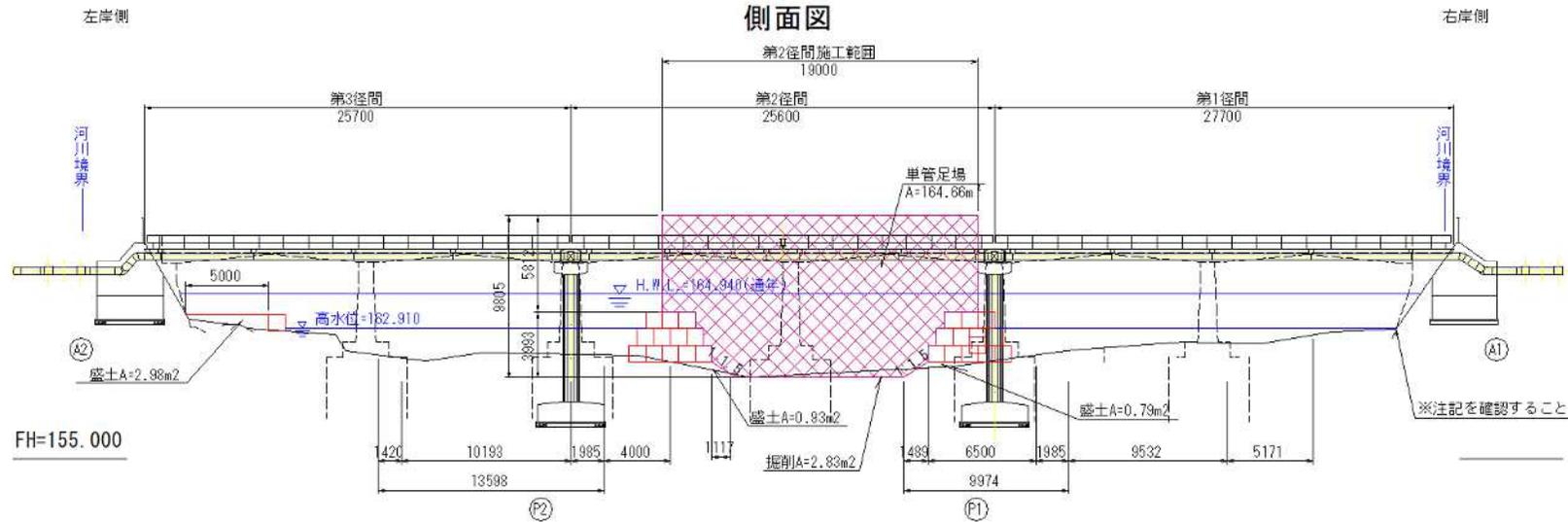
土工計算書

(第1径間:盛土)

測点	距離	盛土 4.0m以上								摘要
		断面	数量	断面	数量	断面	数量	断面	数量	
工事用道路	5.0	0.0 12.8	31.6							
	3.0									
	4.1	12.8	44.7							
	26.7	13.0	343.4							
	5.0	19.9	82.0							
合計	40.7		501.7							

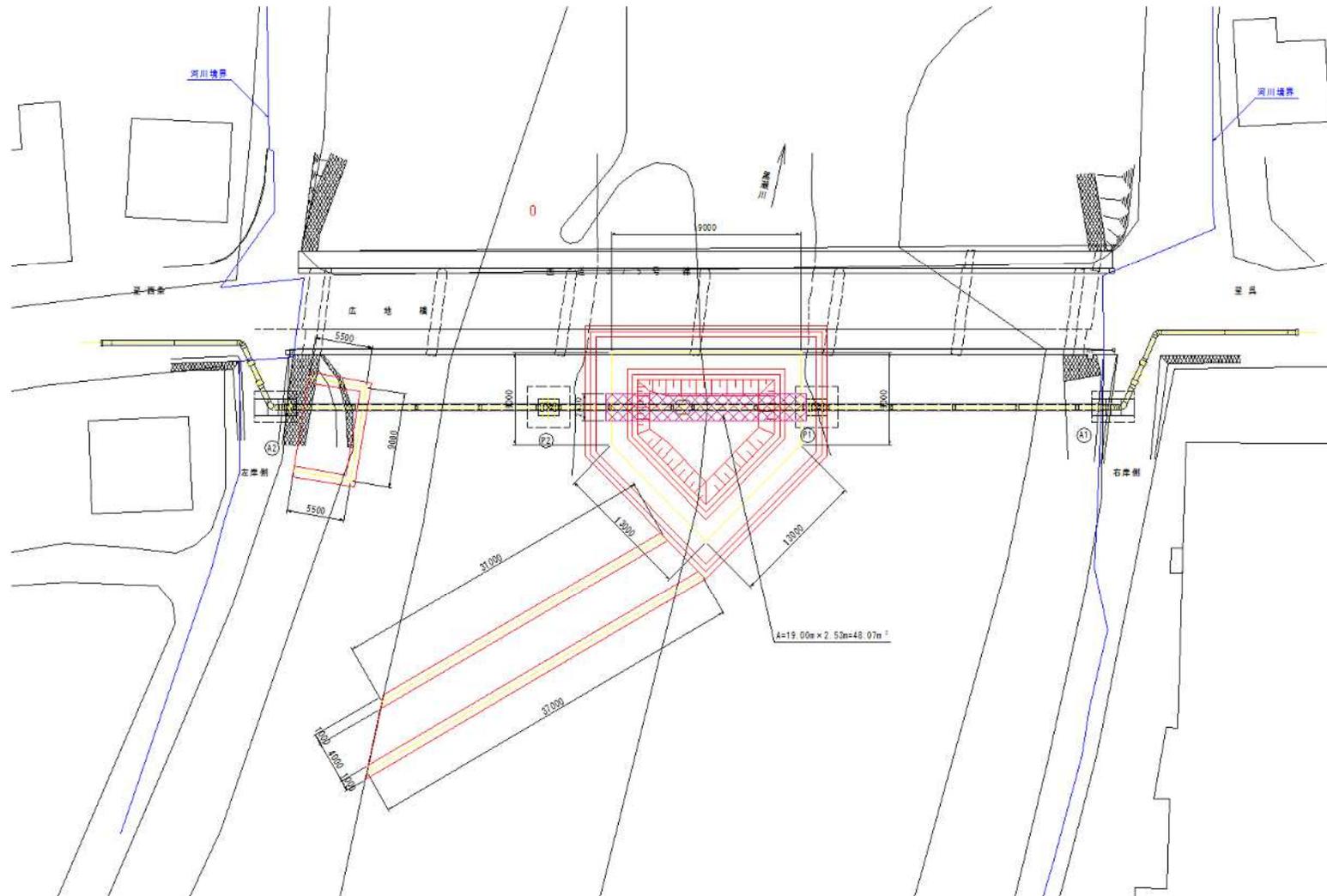


# 第2径間施工時

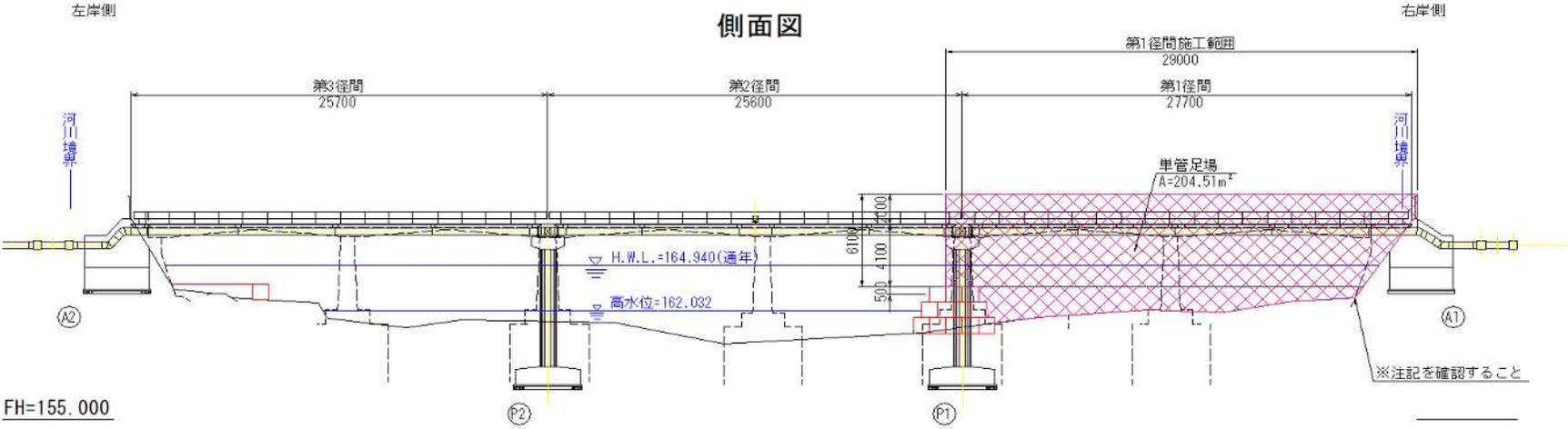


# 第2径間施工時 平面図

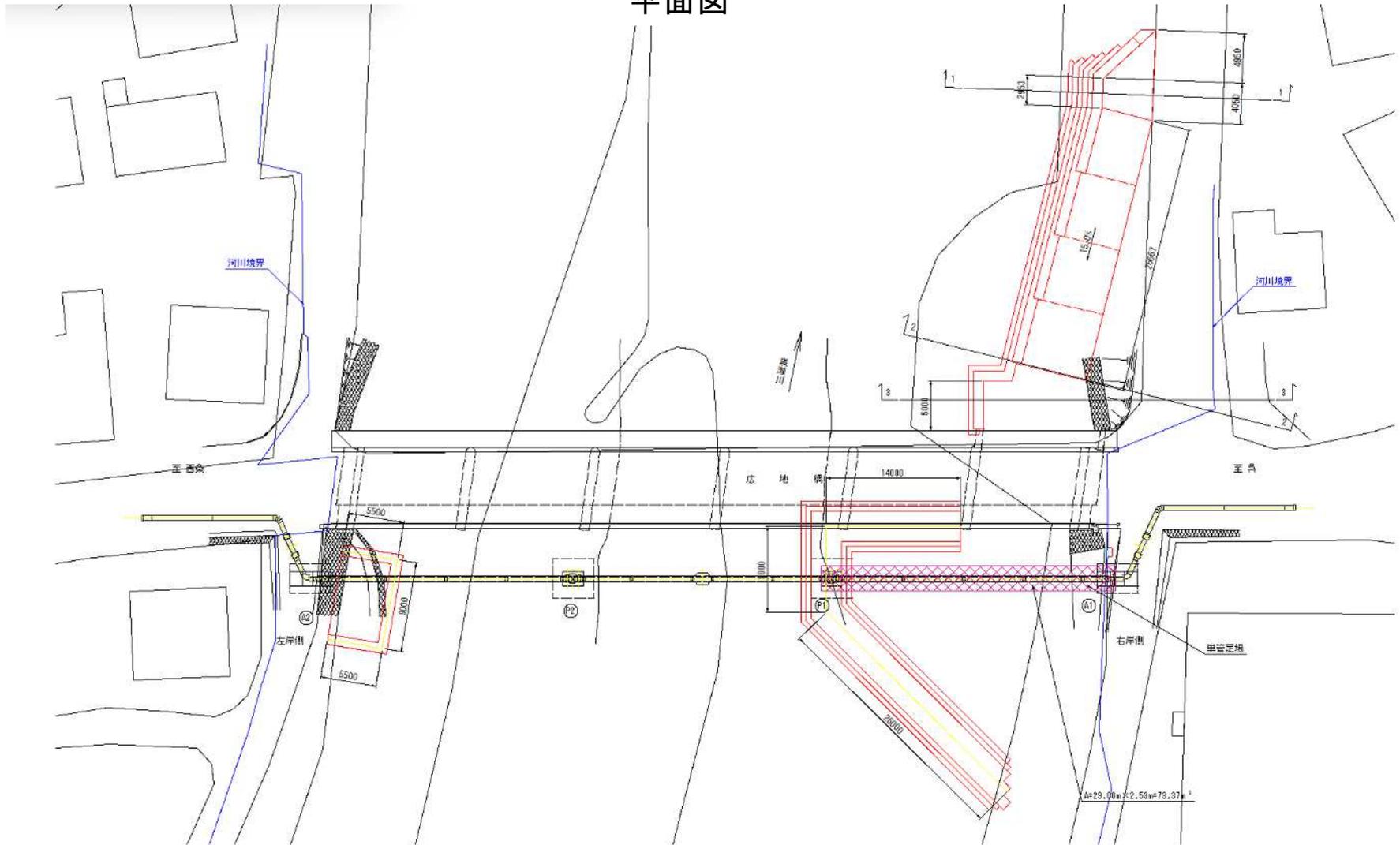
平面図



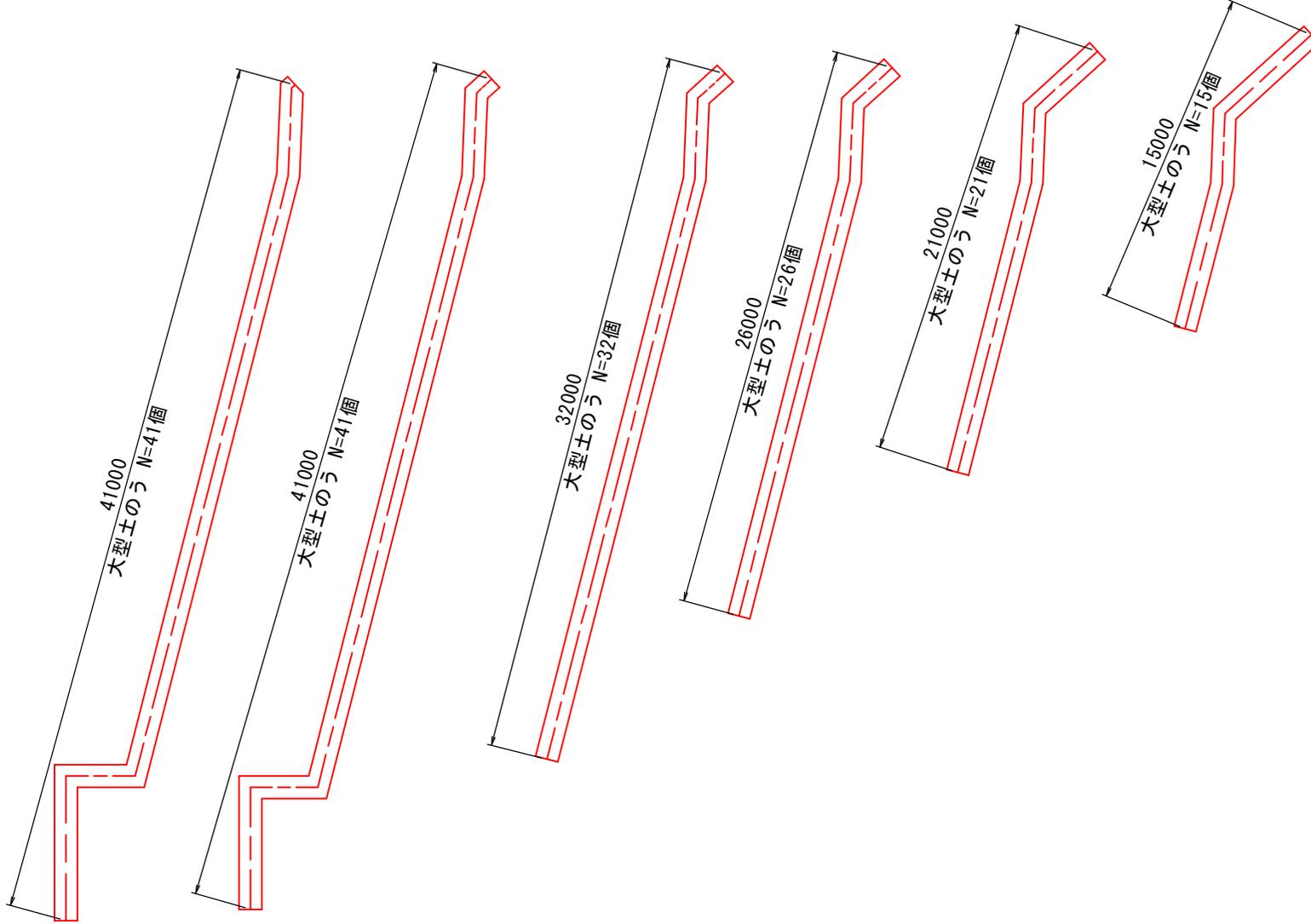
# 第1径間施工時



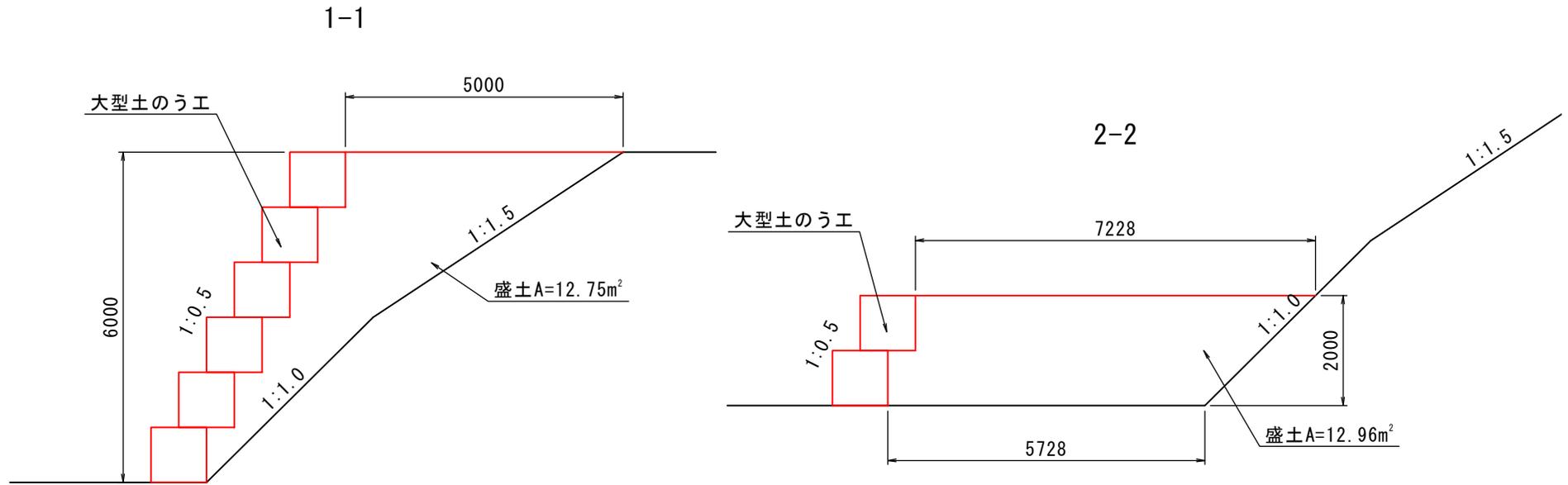
# 第1径間施工時 平面図



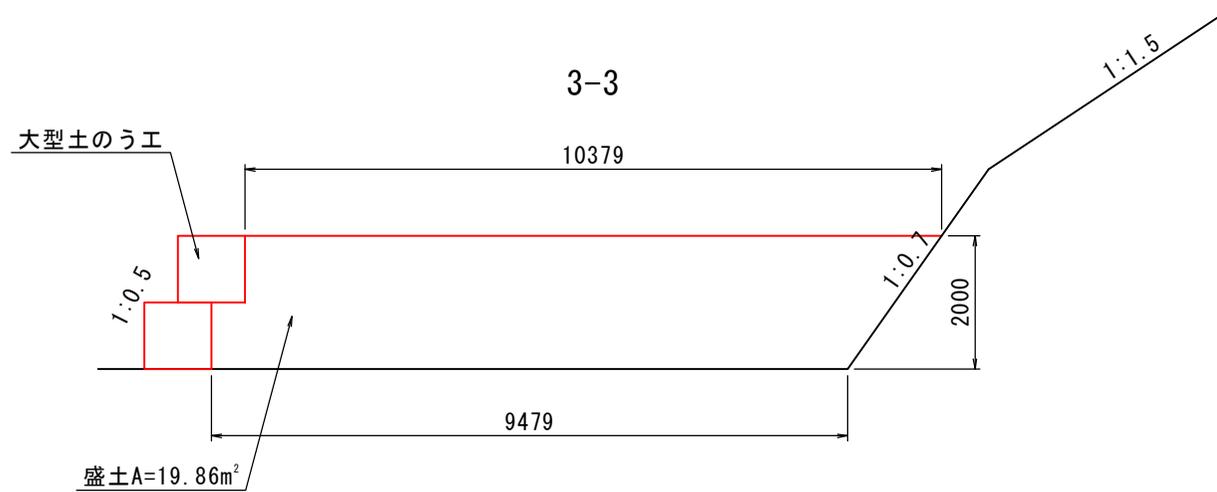
第1径間施工時  
工事用道路  
大型土のう配置図



# 第1径間施工時 工事用道路



# 第1径間施工時 工事用道路



## 1.6 ブラスト用養生設備工

施工計画図(案) (1~3) より

### 1.6.1 ブラスト用養生設備

$$A = 201.140 = 201.140 \text{ m}^2$$